

2015年2月26日
イオン株式会社

3月4日、5日旭川市と「認知症サポーター養成講座」を協働開催 イオン従業員の「認知症サポーター」人数が国内最大規模の累計5万人となります

イオンは、認知症を正しく理解するための講座の受講者「認知症サポーター*」の人数が本年3月、企業として国内最大規模となる累計5万人に達します。

イオンは従業員が認知症への理解を深め的確な対応を行うことで、ひとりでも多くのお客さまが店舗で快適にお過ごしいただけるよう、2007年より厚生労働省とNPO法人「地域ケア政策ネットワーク」が協働で推進している認知症の取り組みにグループを挙げて参画してきました。

イオンはこれまでに、様々な機会に「認知症サポーター養成講座」を実施し認知症サポーターを増やすとともに、グループ企業内での同講座の講師（企業内キャラバン・メイト）の育成を図ってきました。現在では既存店舗はもちろんのこと、新店の開設準備期に従業員がまとまって受講し、開店前に「認知症サポーター」となるようにしています。近年では、「イオン京都桂川店」、「イオン岡山店」などの従業員が開店前に揃って受講し、お客さまへのおもてなしの心構えなどを再認識しました。

本年度は3月4日（水）、5日（木）に、イオン北海道㈱の「イオン旭川駅前店」開店に向けて、また3月24日（火）に、イオン琉球㈱の「イオン沖縄ライカム店」開店に向け従業員が受講します。

さらに、イオン北海道㈱、イオン九州㈱などでは、企業内キャラバン・メイトの育成に努め、業務の合間の同メイトによる講座で徐々に認知症サポーターの人数を増やしています。なお、現在のメイト数はイオングループとして約900人に達しています。

この認知症サポーター養成講座では、認知症に関する知識の学習に加え、レジや売場での身近な事例での対応について、従業員役とお客さま役でのロール・プレイングなどにより各自が自分の問題として捉え、どのように行動すべきかを考えていきます。

イオンは、今後も認知症の方やご家族をサポートする取り組みを拡大します。従業員がお客さまを的確にお手伝いできるホスピタリティ溢れる認知症サポーターとなり、地域の皆さまとともに安心して暮らせるまちづくりを目指してまいります。



認知症サポーターのマーク

* “認知症になっても安心して暮らせるまちを目指す” ため、厚生労働省とNPO法人「地域ケア政策ネットワーク」が協働して、「認知症を知り地域をつくる10カ年」キャンペーンを2005年より開始しました。「認知症サポーター100万人キャラバン」などの取り組みにより、認知症を正しく理解するための講座（「認知症サポーター養成講座」）を開催し、受講者（サポーター）を養成しています。